

2026年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント  
代表者名 代表取締役社長 CEO 高橋 由彦  
(コード番号：3825)  
問合せ先 経営管理部長 安武 明伸  
(TEL：03-6303-0280)

## 2026年3月期の連結業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績における、前期連結実績との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期連結業績と前期連結業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A) (2025年3月期)	21,129	△1,211	△541	△593	△4.92
当期実績値(B) (2026年3月期)	17,751	△5,477	△5,501	△4,740	△33.89
増減額(B - A)	△3,378	△4,266	△4,960	△4,147	△28.97
増減率 (%)	△16.0	-	-	-	-

#### 2. 差異の理由

売上高、営業利益、及び経常利益の前期連結業績との差異につきましては、後述するとおり、主にデジタルアセットマネジメント事業において保有する暗号資産の評価損(売上高の減少)を計上したことによるものです。

エネルギー事業につきましては、当連結会計年度における電力卸市場(JEPX)の平均価格が前年に比べ1kWhあたり約1.25円(約10%)低下したことで販売単価が押し下げられたにもかかわらず、高圧・低圧ともに需要家数及び販売電力量が堅調に増加したことで、売上高は21,092百万円(前期比2.1%増)と前年を上回りました。しかしながら、主に、第4四半期連結会計期間において、中東情勢の緊迫化に伴う燃料価格高騰の懸念から市場調達価格が期末に向けて上昇した影響で、売上原価が増加し、また需要家への価格転嫁が翌期にまたがる商品プランの影響もあり、セグメント利益は1,036百万円(前期比25.7%減)となりました。

蓄電ソリューション事業につきましては、自社ブランドの家庭用ハイブリッド蓄電システム「remixbattery」や法人向け小型産業用ハイブリッド蓄電池の販売台数が伸長したことに加え、2026年3月期より本格的に参入した系統用蓄電池事業の業績の寄与もあり、売上高は2,392百万円(前期

比 74.6%増)、セグメント利益は 559 百万円（前期比 93.0%増）と大幅な増収増益となりました。

デジタルアセットマネジメント事業におきましては、保有する暗号資産（ビットコイン等）の価格が 2025 年 10 月に史上最高値を更新するなど下期初頭にかけて堅調に推移していましたが、その後、米国による対中関税導入への警戒感や地政学リスクの常態化等を背景に下落に転じ、期末にかけて値を下げました。その結果、2026 年 3 月末時点の時価に基づき、5,893 百万円の暗号資産評価損を売上高の減少として計上いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当連結会計年度において、メディカル事業を営む株式会社ゼロメディカルの全株式を譲渡したことに伴う関係会社株式売却益 629 百万円を特別利益に計上いたしましたが、上記の減益の影響を補うには至らず、前期実績値を下回る結果となりました。

以上